

企画提案書（特定非営利活動法人 なばりNPOセンター）

実施地域 (提案する管内に、○を付けてください。複数管内で実施する場合は、主として取り組む管内に◎、他の管内に○を付けてください。)		桑名管内	四日市管内	鈴鹿管内
		津管内	松阪管内	南勢志摩管内
		◎ 伊賀管内	尾鷲管内	熊野管内
0 事業 内容	①課題把握 実施地域におけるNPO等に対する資源循環についての現状と課題について記入してください。	<p>(現状) 資金の規模が小さく、関係するマンパワーも少ない。NPO/人口とすると、県レベルを保っている。(3200人に1団体) 都市からの移住者 海外労働者が多く、NPOなどへの潜在的ニーズは高い地域と考える。</p> <p>(課題) 最大の課題は、資金調達能力の開発 特に寄付の獲得能力の開発。次に人材育成。各種の継続的講座やイベントを通じて、NPO側へ人材を提供していくことが求められる。3つ目にNPO関係の今日的情報(法律・制度)の欠如を補う課題。</p>		
	②事業の具体性 ①で挙げられた課題を解決するための事業として、提案する事業内容を具体的に記載してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO初級講座の開催 事業期間内に 6回 いつでもどこでも</li> <li>・NPO活動「ワールドカフェ」開催 事業期間内に 3回 地域住民との接点</li> <li>・寄付を受やすくする講座の開催 事業期間内に 6回 市民ファンド化</li> <li>・寄付付きイベント開催 事業期間内に 6回 新しい感性の企画</li> <li>・NPO法 寄付税制改定 NPO会計学習会 事業期間内に 6回 画期的な法活かす</li> </ul> <p>その他自主事業として、企業や市民のニーズに基づくお手伝い紹介事業を行います。</p>		
	③事業の成果 事業を実施することにより期待される成果を記載してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊賀地方 18万人圏域で、</li> <li>① NPOについて関心のある人に情報の提供を行い、多くの志民を生み出す。</li> <li>② 寄付イベントの実践により、期間内 寄付総額 100万円 ファンド化</li> <li>③ 伊賀独特の寄付システムの確立に寄り、経常的な収入の道が開ける。</li> <li>④ 社会の多様な主体との協働が進む。企業 行政 NPOのネットワーク化</li> </ul> <p>NPOへの認識を高く 社会資源の循環を行い、もってNPOが活躍できる豊かな地域づくりもたらし、NPO中間支援組織の自立と重要性の認識化の促進を図られる。</p>		
	④事業の継続性・発展性 委託事業終了後、どのように事業を展開していく予定か記載してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOや中間支援組織の認識を高め、会員参加の方法で事業基盤の拡大を図る。</li> <li>・コンサルティング活動や情報受発信による有料サービスを行い業績を上げる。</li> <li>・NPOの細かなニーズに基づいた有料公開講座や事業活動などを行う。</li> <li>・行政や企業との協力・協働事業の中で、委託 請負事業へ参画していく。</li> <li>・新しい寄付税制の中で生き残りをかけて、継続的な「寄付金」獲得事業を展開する。</li> </ul>		
	⑤事業の予算の妥当性 事業に必要な経費の積算の仕方の方等について記載してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い担当職員を確保するために全国レベルの給与水準を予算化した。</li> <li>・一人では、担いきれない業務が多いため、二人体制とした。</li> <li>・特に広報 啓発事業に力点を置き、直接対話が必要なために、移動車両のレンタルリースを予算化した。</li> <li>・消耗品費を除き、備品等の購入は極力控えた。</li> </ul>		
	⑥事業の遂行能力 提案する事業に関連して、貴団体が有する組織体制や専門性等について記載してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当会はNPO法人日本NPOセンターの中間支援連絡協議会の会員で、日常的な是国の活動状況を入手できる環境にあり、定期的な情報交換の会議にも参加している。</li> <li>・当会はNPO法人申請中のみえNPOネットワークセンターの会員で、三重県内の中間支援団体との情報交換の場を持っていて、協力協働の関係にある。</li> <li>・当会は今回の「新しい公共支援事業」の施策検討段階より、NPO側の一員として関わっており、なばりNPOセンターとしてもこれまで十分な話し合いの元で、ステークホルダープロセスを重視して、事業を取り組んでいける能力があると考えている。</li> </ul>		

事業計画書

提案する事業について、いつごろ、どんなことを実施するのか、想定していることを記載してください。

平成23年10月1日～平成24年3月31日

年月	平成23年度取組内容
23年10月	・組織内意思統一 求人募集の確認と実施 → 採用 研修
23年11月	・NPO法 寄付税制改定 NPO会計学習会 第1回 一般
24年11月	・NPO初級講座 「今更聞けないNPOについて」第1回 一般
24年 1月	・寄付を受やすくする講座開催 第1回 名張地区
24年 1月	・NPO活動「ワールドカフェ」開催 第1回 名張地区
24年 2月	・寄付付きイベント開催 第1回 名張地区
24年 3月	・半期の取りまとめ 総括
	・新年度への仕込み 計画 広報 啓発活動
<b>達成目標</b>	
<p>■平成23年度に達成しようとする成果を具体的に記載してください。                  講座各種5種実施 FM放送実施 寄付システムの完成</p> <p>■達成しようとする成果を測る具体的な指標</p> 項目①(講座延参加者) 目標値(100人) / 現状(0) 項目②(企業参加) 目標値(10社) / 現状(0) 項目③(寄付金獲得) 目標値(50万円) / 現状(3万円)	

平成24年4月1日～平成25年3月31日

年月	平成24年度取組内容(予定)
24年 4月	・NPO法 寄付税制改定 NPO会計学習会 第2回 地域協議会
24年 4月	・NPO初級講座 「今更聞けないNPOについて」第2回 地域協議会
24年 4月	・寄付を受やすくする講座開催第 第2回 旧上野地区
24年 5月	・寄付付きイベント開催 第2回 旧上野地区
24年 6月	・NPO法 寄付税制改定 NPO会計学習会 第3回 高校大学
24年 7月	・NPO初級講座 「今更聞けないNPOについて」第3回 高校大学
24年 7月	・寄付を受やすくする講座開催 第3回 旧青山地区
24年 8月	・寄付付きイベント開催 第3回 旧青山地区
24年 9月	・NPO活動『ワールドカフェ』第2回 旧上野地区
24年11月	・NPO法 寄付税制改定 NPO会計学習会 第4回 企業
24年11月	・NPO初級講座 「今更聞けないNPOについて」第4回 企業

24年11月	・寄付を受やすくする講座開催 第4回	旧伊賀地区									
25年11月	・寄付付きイベント開催 第4回	旧伊賀地区									
25年 2月	・NPO法 寄付税制改定 NPO会計学習会 第5回	行政									
25年 2月	・NPO初級講座 「今更聞けないNPOについて」第5回	行政									
25年 2月	・寄付を受やすくする講座開催 第5回	旧大山田地区									
25年 2月	・寄付付きイベント開催 第5回	旧大山田地区									
25年 2月	・NPO活動『ワールドカフェ』第3回	名張地区									
25年 3月	・この間の取りまとめ 総括 新年度への企画立案										
<b>成 果 目 標</b>											
<p>■平成24年度に達成しようとする成果を具体的に記載してください。 名張地区以外の講座を何とか予定通り実施する。 企業との協働を実現 寄付収入100万実現</p> <p>■達成しようとする成果を測る具体的な指標</p> <table border="0"> <tr> <td>項目① (講座延参加者)</td> <td>目標値 ( 500人 )</td> <td>／現状 ( 0 )</td> </tr> <tr> <td>項目② (企業参加 )</td> <td>目標値 ( 20社 )</td> <td>／現状 ( 0 )</td> </tr> <tr> <td>項目③ (寄付金獲得 )</td> <td>目標値 (延100万円)</td> <td>／現状 ( 3万円 )</td> </tr> </table>			項目① (講座延参加者)	目標値 ( 500人 )	／現状 ( 0 )	項目② (企業参加 )	目標値 ( 20社 )	／現状 ( 0 )	項目③ (寄付金獲得 )	目標値 (延100万円)	／現状 ( 3万円 )
項目① (講座延参加者)	目標値 ( 500人 )	／現状 ( 0 )									
項目② (企業参加 )	目標値 ( 20社 )	／現状 ( 0 )									
項目③ (寄付金獲得 )	目標値 (延100万円)	／現状 ( 3万円 )									

## 様式第5号

新しい公共を支える資源循環の基盤づくり

### 委託事業終了後の計画

今回の委託事業での成果を踏まえて、平成25年度以降にどのような事業展開をしていくのか。具体的な取組内容等を記載してください。

#### ① 取組内容

- |                            |                |
|----------------------------|----------------|
| ① 基本的な団体支援の会員 賛助会員を増やして行く。 | 30団体個人を100(同)に |
| ② 多くの市民 企業からの寄付金の獲得        | 3万円を100万円に     |
| ③ 行政との協働事業の推進 委託事業の確保      | 0円から 500万円に    |
| ④ 魅力ある有料講座の開催              | 0円から 50万円に     |
| ⑤ 寄付金付きのイベントを協働開催          | 0円から 50万円に。    |
| ⑥ 企業との里親事業での紹介事業           | 0円から 20万円に     |

基本としては、継続して1名の雇用が確保できることを目標に、「人・金・物・情報」を循環させていく伊賀での要になって行く。 財政規模自主事業と会費 寄付収入で何とか500万円を確保できると考えている。今回の委託事業で伊賀での多様な主体との関わりの中で、達成させていけると考える。